

新久喜

発行
日本共産党
久喜市委員会
久喜市南4-11-22
Tel.22-2365

「水道料金の引き下げを もとめる会」の報告

請願署名は政治的な党派を超えて寄せられ、署名数は1万1704筆、提出後も多数の署名が寄せられました。

請願は日本共産党のみが賛成で不採択でした。

願い届かず残念であり悔しい思いでいっぱいです。消費税増税や年金の引き下げなどにより生活が厳し

い中、県内でも高い位置にある水道料金を引き下げてほしい。平成25年度決算で確定した純利益などの数字を示し、引き下げを求めた内容は道理があるものでした。

請願への反対討論は、今後老朽化や災害対策に莫大な費用がかかり、料金を引き下げれば、現在の水道事業の健全経営は崩れ施設の更新は不可能とするものです。

請願は、安定給水を元に計画された水道ビジョンを基本に提出したものです。

「戦争立法」反対の一点で力を合わせよう

安倍政権は、集団的自衛権行使容認の「閣議決定」を具体化する「戦争立法」を、5月の連休明けの国会に提出し力づくで押し通そうとしています。

先の侵略戦争でたくさんの方が命を奪われた反省から、平和憲法9条が出来ました。自民党内にも反対の

反対理由に上げられた今後の水道事業が適切なものかどうかしっかりと検証して行かなければなりません。

請願に向け、ご協力いただいた皆さんに改めて

日本共産党久喜市議会 水道料金引き下げに奮闘

日本共産党は、久喜市の水道料は埼玉県内でトップクラスの料金で、財政に余裕があり、引き下げは可能であると考えています。

その根拠は①加入金は計画以上②純利益も計画以上③借入金は今後43億から17億に減少④中期計画の前倒しや新規事業は不要不急で精査する⑤水道事業部職員の頑張りは埼玉県平均以上などから

大幅な前倒し

2月議会の水道事業の審議で明らかになったのは、水道ビジョンで示された事業の大幅な前倒しと水橋管の老朽化など新規事業が示されたことです。

感謝を申し上げます。

(日本共産党は「求める会」の一員として力を尽くしました)



その金額は、平成26・27年度の浄水施設費、配水管布設費だけでも16億円の増加です。一気にこれだけの事業を増やしたのは、財政に余裕があるからこそ進められるものです。

水道料金を引き下げることにも検討することが求められていると、改めて指摘したいと思います。引き続き水道事業を精査し市民の福祉向上にむけ頑張ってください。

請願に反対した委員(公明党)からは、内部留保で金が余っているとするのは「完全に間違った判断」と発言、その一方で20mm口径の「加入金」については値下げを提案するなど、こんなに矛盾した対応はありません。

ホットライン

低額年金者

死活問題

2015年度の年金は、4月(6月支給分)から0.9%の引上げにとどまりました。その理由は、2014年の物価上昇は2.7%、賃金2.3%増で低い方を採用し2.3%増となるはずでしたが、年金の伸びを抑える「マクロ経済スライド」が今年から適用され0.9%減額、さらに10年前の物価下落時に年金額を引下げない分の、過払い分として0.5%が減額され0.9%増になりました。年金受給者の半数近くが月額10万円以下です。これは、低年金者は早く死ぬという事ではないでしょうか。年金者組合では不服審査請求却下で、裁判に訴えています。

2015年度の年金改定率

